

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年4月18日（火）

2 調査対象 第6学年

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。
算数は、全国平均を上回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

課題が見られた項目

- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

5 学力向上の取組

今回の調査結果では、国語の「情報の扱い方に関する事項」の問題に課題が見られました。本校では、今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 自分の考えを伝える際に、図表やグラフなどを用いるなどして、分かりやすく表現できるように活動を行います。
- ・ 各教科において、様々な情報の中から関係を見だし、考える授業を行います。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○情報機器について

- ・ ディスプレイ（携帯・スマートフォン・コンピュータ・テレビ・ゲーム機など）を見る時間を再確認し、家庭でのルール作り

○家庭学習について

- ・ 家庭学習の習慣化と、励ましの声かけ

○読書について

- ・ 家族そろっての読書や新聞を読む時間の設定